

# APFレセプションこぼれ話



**史** 上初の東京開催となった2023年度「互恵のためのアジア民衆基金(APF)」総会。その夜の宴会係を拝命した我々3人は、「お堅いのはツマラナイ」精神の下、海外ゲストと一緒に楽しみつつ日本っぽさをお届けする、というポリシーで案を練り始めました。

東京開催＝東京音頭は外せないよね、じゃあ皆巻き込んで踊ってしまえ、から始まり、わらべうたがいいのでは、というアイデアから開宴とゲスト紹介を参加型でやってしまえ、となり、ぜひこの方の歌を聞いて欲しい！と素晴らしい唄い手さんをお呼びすることにし、この3人ならではの文殊の知恵が爆発したプランが出来上がった、と自負しております。

仕事上では初めて組んだ3名でしたが、戸山公園に陣取ってわらべうたのシミュレーションをしたり、BGM用に各国の流行りの歌をリサーチしたり、手ぬぐいのデザインをしたりと、普段とは違う関わり方が面白い時間でした。一方、一番強烈だったのは、昼休みに何度も取り組んだ東京音頭の練習。踊りにはその人の本性が表れるようで、狭い会議室で輪になった社員が黙々と個性的に踊り続けていた様は、今でも忘れられない何かを私の中に残していきました。

若井俊宏(わかいとしひろ/ATJ)



特定非営利活動法人APLA(Alternative People's Linkage in Asia)  
フィリピン・ネグロス島の30年以上の経験を活かし「農を軸にした地域づくり」のためのネットワークの構築を目指して、出会いや交流の場の創造を進めています。 [www.apla.jp](http://www.apla.jp)

株式会社オルター・トレード・ジャパン(ATJ)  
バランゴバナナやエコシリブなどの交易を通して、生産者と消費者を顔と顔が見える関係でつなぎ、人と人、自然が共生できる社会づくりを目指しています。 <https://altertrade.jp>

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-15サンライズ新宿3F  
TEL03-5273-8160 FAX03-5273-8667 MAILinfo@apla.jp

過去のPtoP NEWSはこちらから  
特定非営利活動法人APLA

# 人から人へ PtoP NEWS vol.59 2023.12

PtoP: 作る人と食べる人が共に支え合う仕組み



民衆交易パートナー・TOKYOに集結!



頭到手ぬぐいを巻き、レセプションで披露する歌を練習するパレスチナのサナさん、ファッドさん、イッサさん(左から)

## スタイルズケイクス



全国のPtoPに関わる仲間を紹介するコーナーです。  
PtoPとは、作る人と食べる人が共に支え合う仕組み



**ス** タイルズケイクス (Style's Cakes & Co) さんは、東京の神保町にあるキッシュとタルトをテーマにしたケーキ屋さんです。注文スタイルがユニークで、毎朝その日のメニューがFacebookに掲載され、お客様はそれを見て午前中に電話で注文し、午後受け取りに行きます。お屋前にはほぼ完売。どのケーキやタルトもメインの素材の味が生かされ、しつこくない上品な甘さで、何個でも食べたくなってしまいます。

お店で使用する砂糖はすべてマスコバド糖。店主の岩崎修さん曰く、「マスコバド糖はキレがある」とのこと。最初はパウンドケーキに使っていたところ、おいしいなら少し茶色くてもいいだろうと、すべての商品に使うようになりました。

### 自分がおいしいと思うものを作り続ける

もともと岩崎さんはスイーツの専門ではなく、15年ほどレストランを営まれていました。神保町周辺は様々なお店が乱立するエリア。岩崎さんもランチ戦争に巻き込まれました。毎日毎日ランチを出しながら過ごす日々。ある時から次から次へとランチを出すことに違和感を持つようになりました。お連れ合いの百合子さんの後押しもあり、レストランを閉じて、ケーキ屋さんをス

タートすることに。ケーキ作りを習ったことがなかったので、型にはまらずに自分がおいしいと思うものが作れると思ったそうです。最初はイートインもありましたが、次のお客様を待たせてしまいゆっくり接客できない、外にはケーキを買い求めるお客様の列が…。考えた挙句たどり着いたのが、最初にご紹介した注文方法でした。売り切れてしまうこともあります、お客様を待たせずお渡しできるスタイルです。

岩崎さんにお店を続けるモチベーションについて聞いてみました。すると、「考えたこともなかった」という言葉から始まりつつも「あえていうなら、自分がおいしいと思うものを、同じように思ってもらって買って来て、共感しあえることが喜び」と話してくれました。お話を伺ったこの日は、マスコバド糖の輸出団体オルタートレード・フィリピン社のエリア・マカタガイさんと一緒でした。「マスコバド糖があって自分がおいしいと思うケーキが作れる。砂糖を作り続けてください!」と熱いメッセージもいただきました。岩崎さんの夢は、「おまんじゅう」やさんのように、お客様に長く愛されるお店になること。お話を聞いていて、タルトやキッシュ、お店を通じて表現される誠実なあり方に胸が熱くなりました。同時に、お店の味を決める素材の一つとしてマスコバド糖が選ばれていることを、とても誇らしく思いました。



吉澤真満子(よしざわまみこ/ATJ)

### Style's Cakes & Co

住所 千代田区神田小川町3-16-5  
電話 03-3291-6910

※お店の情報はFacebookをご覧ください。▶





特集



# 民衆交易パートナー、TOKYOに集結!

from 日本・東京

**10**月の秋晴れの中、海外産地パートナーをお迎えし、主要な販売先の国内消費者団体や韓国の生協関係者、民衆交易に関わりのある方々総勢123名が一堂に会し、「民衆交易フォーラム」が開催されました。複数の産地パートナーから話を聞くのも、国内外の取り組みを消費者と生産者の垣根を超えて話し合うのもほぼ初めての試みでしたが、会場とオンラインで多くの方にご参加いただきました。

3年間のコロナ禍を経て(個人的には前後で2回の育休を経て)、生産者と消費者が対面で交流するイベントはとて久しぶりでした。会えなかった時間を埋められるような、そしてここ数年旅立たれた先人たちを偲ぶような会にするにはどうしたらよいか...など、試行錯誤しながらスタッフ全員で準備してきました。

前半は民衆交易を振り返る動画に始まり、本当に惜しまれてここ数年に他界された堀田正彦さん、秋山真兄さん、生田喜和さんという民衆交易を支えてきた私たちの親愛なる「御三方」を偲びました。取り組み初期のお話をグリーンコープの行岡良治さんにいただき、海外からは、初期からの立役者であるオルタナティブ・フィリピン社のノルマ・ムガールさんから昨年新代表に就任されたパプアのカカオキタ社のハンス・ルマロペンさんまで、日英韓の同時通訳を頼りに民衆交易のこぼこ道をたどりました。

奇しくもハマスがイスラエルに奇襲攻撃をしかけ、それに過激に応酬するイスラエルがガザに空爆を始めたというニュースが入ってきた翌日でもありました。後半の質問コーナー(逐次通訳)の中で、現在のパレスチナの状況を教えてくださいとの質問に、パレスチナのオリーブオイルを出荷しているUAWCのファッド・アブサイフさんが答えてくれました。「日本での滞在を最後まで楽しめることを願っていたが、16年前の停戦合意以降も侵略を続けるイスラエルが再びガザ地域を攻撃し始めたため、予定を変更してヨルダンとの国境が閉まらないうちに帰ろうと考えている。パレスチナにとって神聖なモスクにイスラエル人入植者が入り込み、女性を殴り、モスクの礼拝者に暴力をふるっている。ガザではミサイル警報が鳴り響き、逃げ場がない中で多くの死者が出ている。ある家では家族12人全員の命が一瞬で奪われてしまった。イスラエルの占領と妨害により道は寸断され、村や街は孤立させられ、病気になっても病院に行けない。占領下で75年間もパレスチナの人々は人として生きるための基盤をことごとく奪われてき

慣れない進行や24人の海外ゲストの滞在がスムーズにいくように、たくさん頭を使って、効率的な動き方を考えて準備してきましたが、ファッドさんの言葉を聞いて心で仕事をする事の大切さを突き付けられた気がします。理不尽なことには怒って、憤って、そうじゃないと声を上げる。弱い立場の人に寄り添えな

生産者と消費者という立場よりも、同じ時代を生きる友人として、また食べ物を通じて出会う仲間として交流したい、もっとお互いを知りたいと思えるような機会を目指しました。休憩時間にはコーヒー、バナナ、かりんとう、チョコレート、お昼はエコジュリンブやパレスチナのオリーブオイルが贅沢に使われたお弁当を食べながら、そこかしこで生まれる交流の輪にほっとしました。



ノルマ・ムガールさん



ハンス・ルマロペンさん

ている。今回も多くの命が奪われてしまうだろうことをとても危惧している。」

冷静に、でも怒りのこもったファッドさんの肉声に会場にいる全員が聞き入っていました。現実とは思えないガザの状況、抑圧の中でさらに事態が悪化するだろうと考えながらも、早く家族の元に、自分たちの国に帰ろうとするファッドさんの言葉を通訳するのに涙を堪えることができませんでした。



パレスチナの状況について話すファッドさん

かったら、いろんなことに心を動かされていなかったら、民衆交易は生まれていなかった。私たちには一緒に憤ったり、涙を流すことができるだけでなく、未来を変えていこうとする仲間がこんなにたくさんいる。再び出会えたこの日を機に頭も心も大切にしていこうと決意しました。

黒澤仁実(くろさわ・ひとみ/ATJ)